

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003011	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	前原 由喜夫／Yukio Maehara		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	前原 由喜夫／Yukio Maehara		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	前原 由喜夫／Yukio Maehara		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymaehara▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	教育学部2階212号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・授業への積極的参加：15% ・プレゼンテーション：50%（中間発表25%、最終発表25%） ・レポート：35%（個人レポート10%、グループレポート25%）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育，課題探求・課題解決型学習，自己表現・コミュニケーション能力，主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本的に対面授業を行うが、体調不良の学生が多いときや指定感染症が流行した時期には、リアルタイム・オンライン授業を行うこともある。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」をダウンロードして適宜活用してください。 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、初年次セミナーの趣旨説明、授業の具体的進め方・計画の説明（対面授業）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面授業）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面授業@中央図書館）
第4回	倫理とコンプライアンスについて（対面授業）
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面授業）
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面授業）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面授業）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面授業）
第9回	中間発表（対面授業）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（対面授業）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面授業）
第12回	プレゼンテーション準備・発表練習・質疑応答、グループディスカッション（対面授業）
第13回	最終発表（対面授業）
第14回	最終レポートの修正（対面授業）
第15回	最終レポートの修正（対面授業）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003012	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	三上 次郎／Mikami Jirou		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	三上 次郎／Mikami Jirou		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	三上 次郎／Mikami Jirou		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	教育学部150周年とイベントの計画（3クラス合同）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	大学におけるイベントの調査（1）
第5回	大学におけるイベントの調査（2）
第6回	グループにてイベントを考える（1）
第7回	グループにてイベントを考える（2）
第8回	グループにてイベントを考える（3）
第9回	グループにてイベントを考える（4）
第10回	中間発表
第11回	イベントの計画プレゼン作成（1）
第12回	イベントの計画プレゼン作成（2）
第13回	イベントの計画プレゼン作成（3）
第14回	プレゼンテーションの実施（1）
第15回	プレゼンテーションの実施（2） まとめ

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003013	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	峰松 和夫／Kazuo Minematsu		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	峰松 和夫／Kazuo Minematsu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	峰松 和夫／Kazuo Minematsu		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	minematsu▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	教育学部本館111室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	積極的に「学び」仲間と「関わる」視点を大切にします。 授業は「対面」で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003014	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	宮下 茂／Miyashita Shigeru		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	宮下 茂／Miyashita Shigeru		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	宮下 茂／Miyashita Shigeru		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyamo▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	音楽棟2F 204		
担当教員TEL/Tel	819-2345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み他、研究室前掲示参照		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003015	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	宮津 寿美香／Sumika Miyatsu		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	宮津 寿美香／Sumika Miyatsu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	宮津 寿美香／Sumika Miyatsu		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	「対面」で実施
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003016	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	武藤 浩二／Cosy MUTO		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	武藤 浩二／Cosy MUTO		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	武藤 浩二／Cosy MUTO		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	cosy▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	美術技術教室棟 2F 206		
担当教員TEL/Tel	(095) 819 2361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜1校時、金曜1校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は、全ての回を対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	武藤 浩二／技術系国家公務員として国の無線通信組織の構成・維持・運営及び通信電子機材研究開発、政令指定都市財団の技術系管理職として半導体ベンチャー企業の支援に従事
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	【対面】オリエンテーション，講義内容の理解，自己紹介
第2回	【対面】教育学部150周年とイベントの計画（この回は，三上クラス及び山岸クラスとの3クラス合同で実施）
第3回	【対面】図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	【対面】大学におけるイベントの調査（1）
第5回	【対面】大学におけるイベントの調査（2）
第6回	【対面】グループにてイベントを考える（1）
第7回	【対面】グループにてイベントを考える（2）
第8回	【対面】グループにてイベントを考える（3）
第9回	【対面】グループにてイベントを考える（4）
第10回	【対面】中間発表（この回は，三上クラス及び山岸クラスとの3クラス合同で実施）
第11回	【対面】イベントの計画プレゼン作成（1）
第12回	【対面】イベントの計画プレゼン作成（2）
第13回	【対面】イベントの計画プレゼン作成（3）
第14回	【対面】成果発表会（1）（この回は，三上クラス及び山岸クラスとの3クラス合同で実施）
第15回	【対面】成果発表会（1），まとめ（この回は，三上クラス及び山岸クラスとの3クラス合同で実施）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003017	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	山岸 利次／Yamagishi Toshitsugu		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	山岸 利次／Yamagishi Toshitsugu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	山岸 利次／Yamagishi Toshitsugu		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-yamagishi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	教育学部2 1 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週木曜日、12：15～12：45		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2 h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2 h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003018	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	前田 桂子／Keiko Maeda		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	前田 桂子／Keiko Maeda		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	前田 桂子／Keiko Maeda		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmaeda▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	教育学部6F624研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月4		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003019	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	久保田 さゆり／Kubota Sayuri		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	久保田 さゆり／Kubota Sayuri		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	久保田 さゆり／Kubota Sayuri		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2 h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2 h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面で実施します。変更がある場合は、LACSにてお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003020	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	久保田 もか／Kubota Moka		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	久保田 もか／Kubota Moka		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	久保田 もか／Kubota Moka		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubota▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	教育学部本館107研究室		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜1限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面にて実施
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	久保田 もか／高等学校保健体育授業における指導実践および部活動指導実践
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003021	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	福山 隆雄／Takao Fukuyama		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	福山 隆雄／Takao Fukuyama		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	福山 隆雄／Takao Fukuyama		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukuyama-takao▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	教育学部414号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2337		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 5校時目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 発表やレポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業は、基本的に全て対面で実施される。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回（対面授業）	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回（対面授業）	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回（対面授業）	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回（対面授業）	倫理とコンプライアンスについて
第5回（対面授業）	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回（対面授業）	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回（対面授業）	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回（対面授業）	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回（対面授業）	中間発表 質疑応答
第10回（対面授業）	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回（対面授業）	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回（対面授業）	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（構成案）
第13回（対面授業）	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（構成案を踏まえての議論）
第14回（対面授業）	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（まとめ）
第15回（対面授業）	合同発表会によるプレゼンテーション

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003022	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	林 幹大／Hayashi Mikihiro		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	林 幹大／Hayashi Mikihiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	林 幹大／Hayashi Mikihiro		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mhayashi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	407研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2334		
担当教員オフィスアワー/Office hours	なるべく午前中（適宜訪問可です。必ず捕まえたときは事前にアポをとること。）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、ロジカルな思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしている。高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	現代社会における諸問題へ関心を持ち、その理解に必要な知的活動を能動的かつ論理的にできるようになる。書籍やインターネットにある膨大な情報から、課題解決に必要なものを精査できるようになる。文章読解・文章構成力を育み、情報を正確に伝えることができるようになる。学習・実験のデザイン力を育て、高い倫理観を持って課題解決に取り組むことができるようになる。様々なバックグラウンドを持つ学生と教員とのコミュニケーションを通して、適切な自己表現能力、ものの見方・考え方の多様性を涵養し、主体性を持って他者と協働できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション 20点 レポート 60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（予習：2 h）研究テーマに対して自主的に調査する （復習：2 h）発表した調査内容に対する問題点を精査する		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその時に指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面授業で実施します。変更する場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	高等教育の入り口として、初年次セミナーから学修のイロハを身につけてください。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、初年次セミナーの目的、具体的な進め方の説明、初年次セミナーで扱う全体テーマの説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業とグループ分け
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	研究倫理に関する説明、研究方針の打合せ（グループ別）
第5回	各グループによる研究テーマの発表と計画案の報告、研究計画案の相互評価
第6回	研究テーマの進捗状況・経過報告とディスカッション（グループ別）
第7回	研究テーマの進捗状況・経過報告とディスカッション（グループ別）
第8回	研究テーマの進捗状況・経過報告とディスカッション（グループ別）
第9回	研究テーマの中間発表（パワーポイント資料の作成）
第10回	研究テーマの中間発表（発表の練習）
第11回	中間発表を踏まえた、研究テーマの分析・修正（グループ別）
第12回	研究テーマの進捗状況・経過報告とディスカッション（グループ別）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーションとディスカッション
第14回	最終レポートの作成
第15回	最終レポートの作成・提出

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003023	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	菅野 弘之／Kanno Hiroyuki		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	菅野 弘之／Kanno Hiroyuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	菅野 弘之／Kanno Hiroyuki		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kankan▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	美術技術教室2 1 2		
担当教員TEL/Tel	メールにて連絡すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	前期月曜12時から12時30分（メールにて事前予約して確認してから来訪の事）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート、文章構成力・文章表現力・オリジナリティーの観点から総合的に評価する）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：授業で行った内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業 図書館で行う授業であるシラバス第2、12、13、14回は日にちが指定されている。よって指定日時の受講が必要である。上記に示した授業回は凡その流れを示すものである。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明 対面
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 倫理とコンプライアンスについて 対面
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講 対面 5月22日 16:10～17:40
第4回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業 対面
第5回	テーマの設定、研究の打合せ・グループディスカッション、報告とディスカッション 対面
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション 対面
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始 対面
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始 対面
第9回	中間発表 質疑応答 対面
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正） 対面
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出 対面
第12回	図書館を利用したアクティブラーニング1 5月29日16:10～17:40
第13回	図書館を利用したアクティブラーニング2 6月5日16:10～17:40
第14回	図書館を利用したアクティブラーニング3 6月12日16:10～17:40
第15回	最終レポートの修正 提出 講評 対面

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003024	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	脇 信明／Nobuaki Waki		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	脇 信明／Nobuaki Waki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	脇 信明／Nobuaki Waki		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nobuwaki▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	教育学部棟 2階 225 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2388		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日の2限目または昼休みだと対応が可能です。事前にメールで訪問をお知らせいただけますと助かります。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2 h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2 h）		

キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業にて実施
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明【対面】
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業【対面】
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講【対面】
第4回	倫理とコンプライアンスについて【対面】
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション【対面】
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション【対面】
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始【対面】
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始【対面】
第9回	中間発表 質疑応答【対面】
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）【対面】
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出【対面】
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション【対面】
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出【対面】
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003025	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（教育）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	石川 衣紀／Izumi Ishikawa		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	石川 衣紀／Izumi Ishikawa		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	石川 衣紀／Izumi Ishikawa		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	izumi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	教育学部棟2階・231番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日2限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	①知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） ②科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） ③レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） ④学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy ■協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習：発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）		
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習		

教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	倫理とコンプライアンスについて
第5回	テーマの設定、グループ分け、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの修正